

第15回（2023年度第2回）支部執行委員会議事録

JCI 四国支部

1. 日時 2024年2月22日（木）15時00分～16時20分
2. 場所 香川県生コンクリート工業組合（Web会議）
3. 出席者 支部長：上田隆雄
幹事：氏家勲，岡崎慎一郎，河合慶有，富田雄一，橋本親典，林和彦
藤井禎，古田満広（事務局兼務）
執行委員：朝倉光司，角野拓真，近藤拓也，佐藤義昭，鈴木卓，玉井典
戸田友一，中村康一，横山卓哉，吉田秀典
検査役：堀井克章
本部理事：橋本親典（重複）
事務局：新居宏美 計 21 名
4. 配付資料
資料 0 第15回支部執行委員会次第，委員名簿 p1, 2
資料 1 2023年度事業報告（中間）と今後の事業計画 p3～6
資料 2 第14回（2023年度第1回）支部幹部会議事録（案） p7～10
資料 3 第8回支部執行部候補者推薦委員会議事録（案） p11
資料 4 令和5年度第1回「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」
議事録（案） p12, 13
資料 5 第16回コンクリート甲子園予選会出場校（四国の学校一覧 8校/32校） p14
資料 6 コンクリート工の生産性向上を目的としたトラックアジテータ車の高性能化に
関する研究委員会委員名簿 p15
第1回委員会議事録（案），第2回委員会議事録（案） p16～20
資料 7 令和5年度生コンセミナーin徳島開催案内 p21, 22
資料 8 第12回コンクリート技術研修会実施報告書 p23, 24
資料 9 土木学会コンクリート標準示方書改訂講習会案内その1 p25, 26
資料 10 土木学会コンクリート標準示方書改訂講習会案内その2 p27, 28
資料 11 2023年度コンクリートに関する技術情報交換会開催案内 p29
資料 12 松山自動車道4車線化現場見学会実施報告書 p30
資料 13 2023年度収支決算（12月末），収支予定（1～3月） p31, 32
資料 14 2024年度事業計画（案） p33～36
資料 15 2024年度収支予算（案），支部交付金試算 p37, 38
資料 16 2024年度支部執行部調整（案） p39, 40
資料 17 JCI国内旅費規程（令和5年12月25日改正），お知らせメール，基本情報届出書

交通費請求書，記入例，近地交通費請求書兼領収書フォーム p41～48

資料 18 支部規程 p49～52

資料 19 支部執行部候補者推薦委員会規程 p53

5. 審議事項

上田支部長より支部執行委員会開催に当たり挨拶があり，その後，各議題について審議が行われた。審議結果は，以下のとおり。

(1) 2023 年度事業報告 (1 月末) および収支決算案 (12 月末) について (資料 1～13)

- ・ 本年 1 月 24 日に開催された「第 14 回支部幹部会議事録 (案)」について，2024 年度事業計画において「コンクリート構造物の品質確保のための新技術開発と実践に関する研究委員会」を継続として扱うこと，2024 年度より研究委員会年間活動費を 250,000 円から 300,000 円に増額したこと等が事務局より報告された。
- ・ 本年 1 月 24 日に開催された「第 8 回支部執行部候補者推薦委員会議事録 (案)」について，退職される堀井検査役の後任に橋本幹事が，氏家幹事に大学定年後も幹事と推薦委員会委員の再任を要請すること (委員会後要請したが，辞退された)，辞退された場合は推薦委員会委員に林幹事に要請すること (内諾済)，推薦委員会委員長に渡辺幹事をお願いすること (内諾済)，2 月 22 日の執行委員会で幹事および執行委員の再任を確認すること等が事務局より報告された。
- ・ 「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」について，近藤幹事長より 9 月 22 日に Web 会議が開催され，教育モデル校の活動の中間報告および総会時に対面での参加ができずビデオ形式になる可能性があること，コンクリート関連企業への就職者数調査結果の確認等が行われたとの報告がなされた。さらに，本会終了後に令和 6 年度のモデル校が愛媛県立八幡浜工業高等学校機械土木工学科に決定したことが併せて報告された。また，第 16 回コンクリート甲子園予選会に出場した四国内の 8 高校のうち 5 校から補助金の申請があり，計 100,000 円支援したことが事務局より報告された。
- ・ 「コンクリート工の生産性向上のためのトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」について，橋本委員長より Web で 2 回，対面式で 1 回委員会を開催したこと，測定原理は動荷重の値とレーザー変位計で測定したトラックアジテータ車の積み荷容積に基づき空気量を推定する方法であること，4 工場の協力を得て検証を実施していること，本年度の委員会予算はほぼ消化したこと，現時点での結果の概要について i-Construction 委員会で報告する予定であること等が報告された。
- ・ 「コンクリート構造物の品質確保のための新技術開発と実践に関する研究委員会」については，岡崎委員長より取り組み方針が報告され，年度内に委員を募集することが確認された。また，募集については，コンクリート工学誌と支部 HP に掲載することが併せて確認された。
- ・ 「生セミナー in 徳島」について，2 月 26 日に開催すること，講演は 2 題であるこ

と等が橋本幹事より報告された。また、現時点での申込者数は 46 名であることが事務局より報告された。

- ・ 後援事業である「コンクリート技術研修会」（主催：高知県コンクリート診断士会）について、橋本幹事より 100 名近い参加者で盛況であった旨の報告がなされた。
- ・ 共催事業である「2022 年制定 コンクリート標準示方書【基本原則編】【設計編】【維持管理編】 発刊に伴う四国地区講習会」, 「2023 年制定 コンクリート標準示方書【施工編】【ダムコンクリート編】【規準編】 発刊に伴う四国地区講習会」（ともに主催：土木学会四国支部）について、上田支部長より 12 月に開催済であること、3 月 28 日に予定されていること等について報告がなされた。
- ・ 「コンクリートに関する技術情報交換会（Web 会議）」について、上田支部長より 2 回開催し計 4 名の講師が講演されたこと等が報告された。
- ・ 富田幹事より現場見学会が 4 年ぶりに開催されたこと、松山自動車道 4 車線化工事の上部工の高所作業現場であったこと、13 名が参加したこと等が報告された。
- ・ 事務局より 2024 年 1 月～3 月の収支予定を加えた 2023 年度暫定収支決算について、支部の預金高が大きいため預託金として本部へ 2,200,000 円預けたこと、これまでの預託金 800,000 円と併せ 3,000,000 円になったこと、1 件の委員会活動がスタートしていないことにより研究委員会費が少なくなり、本部への預託金を除き 2024 年 3 月末の繰越金予定を 1,125,478 円とすることが報告された。また、上田支部長より質問された支部の固定資産であるデジタルカメラの取り扱いについて、今回の決算では収支残高が整合するよう整理していること、本部への毎月の収支報告書では計上していること等が事務局より説明された。

（2）2024 年度事業計画案および収支予算案について（資料 14, 15）

事務局より 2024 年度事業計画案および収支予算案について説明があり、以下のとおり確認された。また、1 月 24 日締め切りであったため本部へは報告済であること、本日の執行委員会で最終的に諮ることが確認された。

① 2024 年度事業計画案について

- ・ 支部幹部会を Web で 1 回、対面で 1 回開催する。
- ・ 支部執行委員会を Web で 1 回、対面で 1 回開催する。
- ・ 支部執行部候補者推薦委員会を対面で開催する支部幹部会と同日に開催する。
- ・ 内部監査を以下のとおり対面で実施する。
日 時：2024 年 4 月 6 日（土）11 時 00 分～
場 所：香川県生コンクリート工業組合
出席者：上田支部長，堀井検査役，事務局
- ・ 総会を以下のとおり対面で実施する。
場 所：パールガーデン（香川県高松市）

開催日：2024年4月16日（火）

当日のスケジュール（案）

13:30～15:00 第16回支部執行委員会

15:00～15:50 総会

15:50～16:20 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会活動報告
（高知県立高知工業高等学校）

16:30～17:30 特別講演会

17:30～19:30 懇親会

上田支部長より特別講演として、徳島大学大学院の白山敦子先生に「令和6年能登半島地震における建物被害」の題目でお願いしていることが報告された。また、事務局より3月初旬に総会開催を案内することが報告された。

- ・ 研究委員会は常設1件、継続2件とすることが確認された。また、渡辺先生が委員長として新規委員会をスタートさせる可能性があることが確認された。なお、「コンクリート構造物の品質確保のための新技術開発と実践に関する研究委員会」は2023年度末にスタートしたことから2024年度を実質1年目とし、2025年度までの活動が可能であることが確認された。
- ・ JCI四国支部主催講習会として、「コンクリート工の生産性向上のためのトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」の成果報告会および「生コンセミナー in 愛媛」を開催する。なお、成果報告会は対面開催とする、報告書は紙を基本とすることが確認された。また、「生コンセミナー in 愛媛」の担当を、氏家幹事より河合幹事が引き継ぐことが確認された。
- ・ 「コンクリートに関する技術情報交換会（Web会議）」を上半期と下半期に1回ずつ開催する。日程および話題提供者の人は上田支部長に一任する。

② 2024年度収支予算案について

- ・ 前期繰越収支差額を2024年1月～3月の支出を含めた額とする。
- ・ 年次大会2024（松山）の還元金を、2014高松大会（2,125,000円）を参考に2,000,000円とする。
- ・ 研究委員会の予算を250,000円/年から300,000円に増額する。なお、「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」は、活動モデル校への支援150,000円にコンクリート甲子園予選出場校への支援160,000円（8校×20,000円/校）を加え310,000円計上する。また、「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」の会議費はWeb会議を基本とするため計上しない。
- ・ 「コンクリート工の生産性向上のためのトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」の成果報告会および「生コンセミナー in 愛媛」の開催費用をそれぞれ150,000円ずつ計上する。

(3) 2024年度四国支部執行部について(資料16, 18, 19)

1月24日に開催された第8回支部執行部候補者推薦委員会での審議, およびその後の調整等による次年度執行部(案)について, 事務局より以下のとおり報告され, 承認された。

- ・ 検査役を堀井先生から橋本幹事に交代する。
- ・ 近藤執行委員を橋本幹事の後任とする。
- ・ 氏家幹事は大学定年により再任を辞退。
- ・ 任期別執行部数を同数に近づけるため, 渡辺幹事の任期を調整し, 本年5月辞任・再任とする。
- ・ 香川高専の長谷川先生と愛媛大学の横山先生を新規執行委員とする。
- ・ 渡辺幹事を支部執行部候補者推薦委員会委員長とし, 林幹事を同委員会委員とする。
- ・ 古田幹事を次期本部理事候補とする。
- ・ 本年5月任期の執行部について, 出席者(当該者)からは異論はなかった。欠席者については, 後日, メールで確認する。

(4) 旅費規程について(資料17)

事務局より2023年12月25日に改正された「JCI国内旅費規程」の概要について, 以下のとおり説明がなされた。

- ・ タクシーの利用は原則として認めない。
- ・ 私有自動車, レンタカー等, 自ら運転する車両等の使用は一切認めない。
- ・ 在来線, 私鉄の特急・急行および座席指定は, 片道50kmを超える場合に利用できる。
- ・ 片道100kmを超える場合, 1日2,200円の日当を支給する。
- ・ 片道100kmを超え, 自宅を午前7時以前出発, 11時以降に到着の場合, 宿泊が可能になる。
- ・ 旅費の精算は, 本人からの請求に基づき, 後日, 本人の金融機関の口座へ振り込む方法で支払う。ただし, 片道100km以内で特急・急行を利用しない場合は, 本人からの請求に基づき, 当日現金にて清算することができる。
- ・ 本学会宛て(公益社団法人日本コンクリート工学会, 支部活動の場合は末尾に四国支部)の領収書が必要なケースは次のとおり。「片道100kmを超える場合」, 「片道50kmを超え特急・急行を利用する場合」。本規程から, 「片道100km以内で特急・急行でない普通の鉄道」を使用した場合, 領収書が必要ないことになる。なお, 高速バスは領収書が必要であることが事務局より報告された。
- ・ 講演者の謝金等(源泉含む)を支払う場合, 「基本情報届出書」の提出が必要である。なお, 旅費日当のみ支払う場合は, 口座情報の報告が必要となる。

(5) JCI本部理事会について(資料なし)

橋本本理事より, 6月から12月に開催された本部理事会の主な審議事項等について, 以

下のとおり説明がなされた。

- ・ コンクリート（主任）技士試験料の改定（アップ）が検討されている。
- ・ 創立 60 周年を迎える 2025 年度に記念事業の実施を計画している。

（6）その他

上田支部長より、年次大会 2024（松山）の準備状況について、論文投稿数およびブース出展数が当初の想定より多くなり、コロナ禍以前の大会のように盛況になるのではとの報告と併せてご協力の依頼がなされた。また、年次大会還元金が 2024 年度の収入になるので、そのことを踏まえた活動を検討する必要があるとの考えを示された。

以上

（記録者：古田 満広）